

みなさまからの募金は、多くの福祉活動に役立てられています

令和5年度はこれらのご紹介記事を含め、全12福祉団体・34事業に助成されました。

R5. 7実施

富山市母子寡婦福祉連合会

富岩水上ライン乗船と岩瀬地区散策

母子家庭や寡婦のみなさんが、家族や気心の知れた仲間とゆったりした一日を過ごすことができました。当日はお天気にも恵まれ風も心地よく、コロナ規制が緩和された中で久しぶりの対面行事を満喫している様子でした。

助成金のおかげで、このような機会をいただけたこと大変感謝いたします。



R5. 11ほか実施

富山市身体障害者協会

軽スポーツ大会ほか5事業

日頃の運動不足を少しでも解消し、運動機能の低下を防ぐために実施しました。障害を持ちながら一生懸命に取り組む姿勢や会話を楽しむ姿に「私もがんばろう」という気持ちが出てくるとの声がありました。障害者が残存機能を維持していくこのような企画は参加者全員が望んでいます。今後ご支援をお願いいたします。



R6. 2実施

富山市視覚障害者協会

練成会

視覚障害者の社会参加、情報交換、交流を目的として共同募金の助成を受け、今年も練成会を実施させていただきました。

今年は立山歴史ステーションで郷土の歴史と文化にふれることができました。視覚からの情報が全くないか、乏しい私たちにとって、今回こうした体験ができたことは本当に貴重であり、ご寄附いただいた皆様のおかげと心より感謝いたします。



R5. 7実施

富山市社会福祉協議会

傾聴ボランティア養成講座事業

高齢化が進む中、傾聴ボランティアは関心も高く、施設や一人暮らし高齢者など会話の機会を希望する方からの依頼が増えています。この講座を開催することで、ボランティア活動のきっかけづくりや、すでに活動している傾聴ボランティアグループにとっても仲間が増えることで、より活発な活動につながる大変有意義な時間となりました。ありがとうございました。



R5. 通年

富山市社会福祉協議会

地域食堂等支援事業

地域食堂や子ども食堂を開催しているボランティアグループや団体に運営費の一部助成を行いました。物価高騰により経費削減が求められる中、助成先からは「大変ありがたい」との声が多く寄せられました。また、地域食堂に関心のある地区社協などに対しては立ち上げ研修会を開催しました。講演や実践発表を通じて円滑な運営の方法を学ぶ機会を提供することができ、大変感謝しております。



R5. 通年

富山市社会福祉協議会

緊急支援事業

規制が緩和されたとはいえ、コロナ禍と物価高騰の中で困窮されている方はまだ多く、助成金で食糧を提供することができました。

生活保護を申請中の方や生活支援を受けている方など当面の生活費がなく、何日もともに食事ができていないご家族もおられ、「大変助かります」「子どもの空腹がしのげます」と感謝の言葉をたくさんいただきました。共同募金にご寄附いただいた多くの皆さまに感謝いたします。本当にありがとうございました。

<提供内容> アルファ米、缶詰、カップ麺、お菓子など

